

会議等報告書

様式7

会議名称	令和4年度第6回此花区在宅医療・介護連携を推進する会実務者打合せ会	
日 時	令和5年3月17日(金) 14:00~15:00	
場 所	此花区南西部地域包括支援センター会議室(総合介護医療施設あかつき1階)	
出席者	八幡、安田両副会長、瀧谷、楠原、田中はじめ18名	
議 事 内 容		
1. 開会・挨拶 田中CD、司会、進行	※以下、コーディネーターを「CD」と表示 開会の後、八幡副会長から「地域の医療介護は、多職種の連携で成り立っている。顔の見える関係は大事。今日も穏り多い会議にしたい。宜しくお願ひしたい」旨の挨拶があった。	
2. 報告・連絡 各団体から、次の通り報告等があった。	<>内は報告者(敬称略)	
(1) 医師会<楠原・田中> : 多職種連携研修会「ACPを深めよう2」(3月1日・水)は68名の参加。資料として、「意思決定支援のためのACPガイダンス」(第2版)を提示(希望団体には更に配布可能とした)。また、色々な会議等に参加した。なお、※認知症組織代表者級会議は廃止とのこと。		
(2) 訪問看護<奥田> : 昨日の連絡会で、バーチャルリンクの活用、ヘルメットの着用等について協議。3月24日(金)には大阪市西ブロック研修会(於・クレオ大阪西)を開催予定。		
(3) 歯科医師会<安田> : 3月17日・24日口腔ケア指導(大阪暁明館病院看護師対象)を実施予定など。		
(4) 薬剤師会<武智> : 現在の薬剤流通の停滞(入りにくくなっているものがある)状況に鑑み、地域毎のスマートな供給体制構築を企図している(八尾市が先進している)。		
(5) 暁明館病院<岡田> : 院内的人事異動(院長交代)、緩和医療連携会・バックアップ体制について。		
(6) 地域包括<多田> : 自己紹介の後、「まちの保健室」について。来年度は5月から開始予定。		
(6) 南西部地域包括<増田> : 職名の変更(認知症施策推進担当→認知症地域支援推進員)など。※に関しては、仕組み見直しの説明会が3月28日(火)にあるとされた。		
(7) 訪問介護事業所<三原> : オムツ交換勉強会(4月20日・木、於・ふれあいセンター)を開催。		
(8) 介護支援事業者<加藤> : 4月連絡会は、業務の効率化をテーマにグループワークを開催など。		
(9) 区役所<嶋村> : コロナに関して、此花区内の感染状況、感染症法の改正、ワクチン接種状況→(a)65歳以上等は春夏接種(2価ワクチン)、(b)(a)以外は秋冬接種(ワクチンは未定)となるなど。		
以上から、(4)では、八幡副会長から関心が示され、「今後の動向はこの会議で報告してほしい」とされた。(6)では、まず楠原CDから昨日開催の状況報告があった。安田副会長からは相談対象(内容)の確認があり、「子どももOK」とされた。他に、他地区での開催に関する意見があった。(7)では、参加に関する確認等があった。(9)では、安田副会長から接種券の発送状況に関する確認があった。		
3. その他		
田中CDから、①大阪府ACP条例、②大阪市消費者センター「エルちゃんのトラブルバイバイニュース」(最近号)、③令和5年4月施行(改正)等の法律に関する資料提示と若干の説明があった。特に、③では、「今般の民法改正は空き家対策からきている」とされた。また、楠原CDから、改めて「此花区医療・介護支援マップ」の紹介があり、希望者には配布可能とされた。		
なお、次回は、5月25日(木)午後2時、於・此花区南西部地域包括支援センター会議室とした。		